

愛媛県の地震

2022年（令和4年）5月

目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（5月）	1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（5月）	2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 の震度分布図（5月）	2
5. 地震一口メモ 地震情報について	3

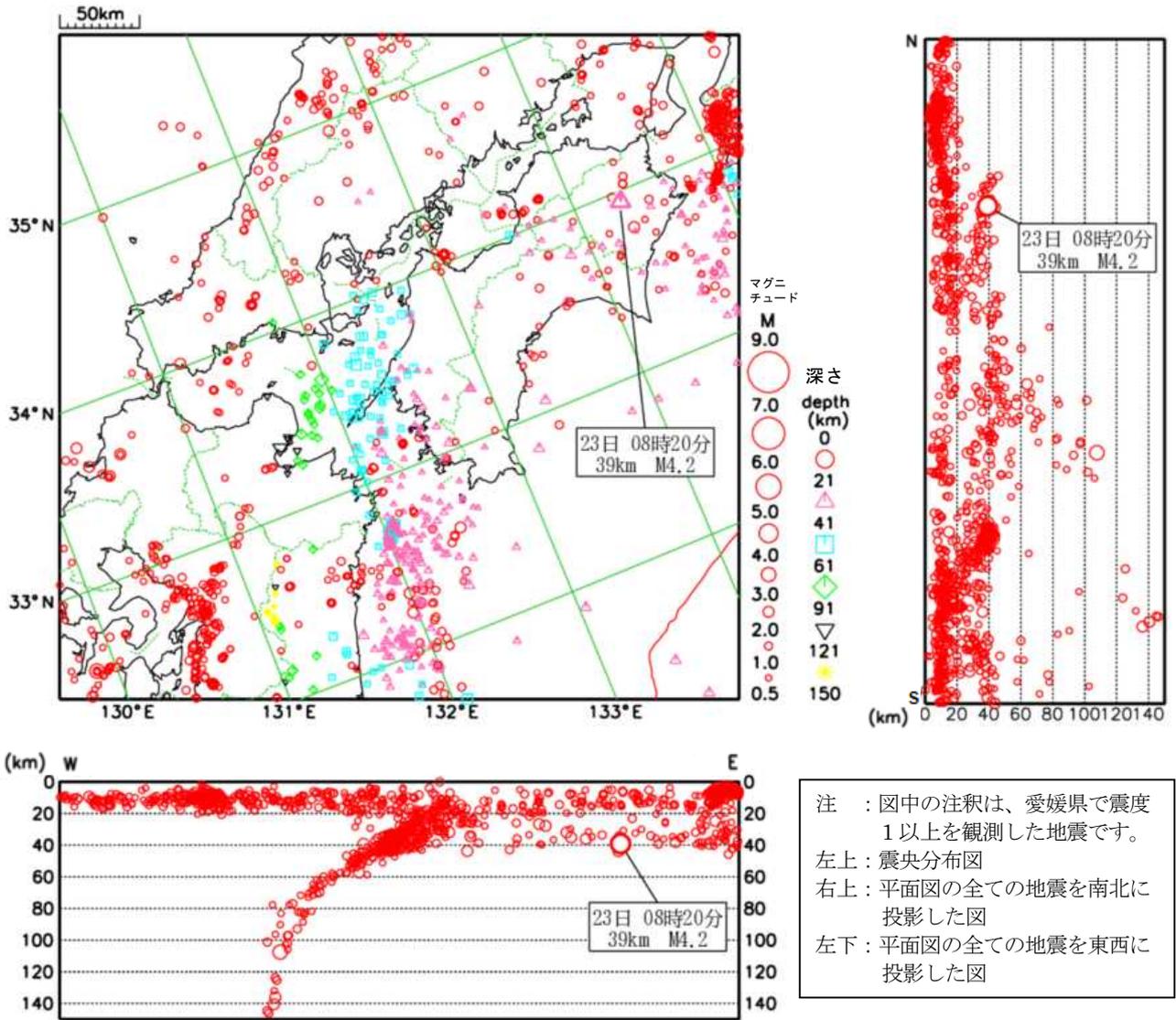
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2022年5月1日～5月31日]



震央分布図は地震が発生した場所を地図上でプロットしたものです。地震は地下で発生しますのでシンボルマークの形を深さに応じて変えています。○より◇の方が深い場所で発生した地震です。また、シンボルマークの大きさと地震の規模 (マグニチュード) を表現しています。

2. 地震概況 (5月)

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうち M2.0 以上の地震の回数は 69 回 (先月は 73 回)、愛媛県内で震度 1 以上を観測した地震は 1 回 (先月は 4 回) でした。

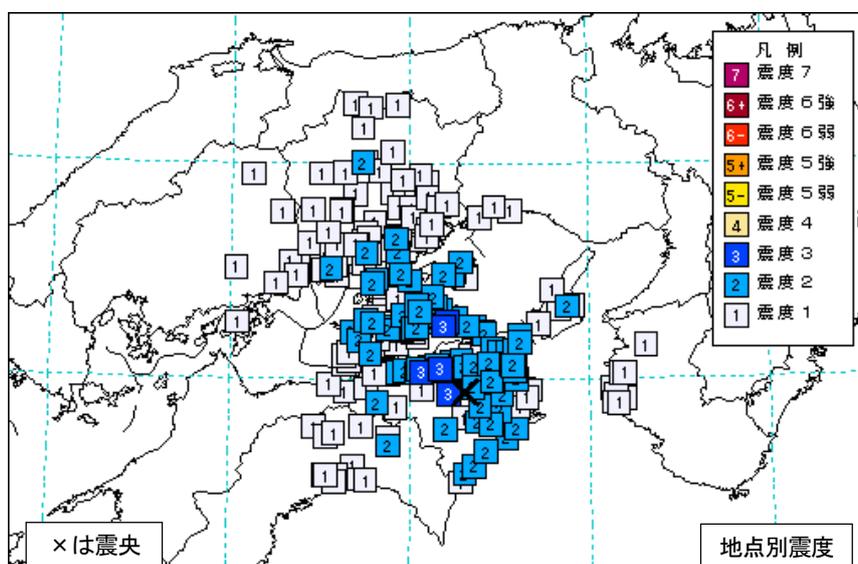
23日 08時20分 徳島県北部の地震 (深さ 39km、M4.2) により、愛媛県今治市・四国中央市で震度 1 を観測したほか、近畿・中国・四国地方で震度 3～1 を観測しました。

3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（5月）

震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
2022年05月23日08時20分	徳島県北部	33° 56.4' N	134° 18.5' E	39km	M4.2	最大震度3
愛媛県内各地の震度						
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：今治市上浦町＊, 四国中央市中曾根町＊, 四国中央市新宮町＊						

注：＊印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図（5月）



5月23日8時20分 徳島県北部

5. 地震一口メモ

地震情報について

気象庁では、地震発生後、その発生時刻や震源、マグニチュードを解析するとともに、観測された震度のデータを収集して、地震に関する情報を速やかに発表しています。防災対応が必要になるような大きな地震が発生した場合、その初動対応に迅速に活用できるよう、震度3以上を観測した地域名を「震度速報」として地震発生後約1分半で速報し、その後、市町村や各地点の震度など詳細な情報を発表していきます。震度の情報はテレビやラジオなどで報道されるほか、防災関係機関の初動対応の基準や災害応急対策の基準として活用されます。

情報の種類	発表基準	内 容
震度速報	・震度3以上	地震発生約1分半後に、震度3以上を観測した地域名(全国を188地域に区分)と地震の揺れの検知時刻を速報。
震源に関する情報	・震度3以上 (津波警報・注意報を発表した場合は発表しない)	「津波の心配がない」または「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加して、地震の発生場所(震源)やその規模(マグニチュード)を発表。
震源・震度に関する情報 ^{※1}	・震度3以上 ^{※2} ・津波警報・注意報発表 または若干の海面変動が予想された時 ・緊急地震速報(警報)発表時	地震の発生場所(震源)やその規模(マグニチュード)、震度3以上の地域名と市町村毎の観測した震度を発表。震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その市町村名を発表。
各地の震度に関する情報 ^{※1}	・震度1以上 ^{※2}	震度1以上を観測した地点のほか、地震の発生場所(震源)やその規模(マグニチュード)を発表。震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その地点名を発表。 ※ 地震が多数発生した場合には、震度3以上の地震についてのみ発表し、震度2以下の地震についてはその発生回数を「その他の情報(地震回数に関する情報)」で発表。
遠地地震に関する情報	・マグニチュード7.0以上 ・都市部など著しい被害が発生する可能性がある地域で規模の大きな地震を観測した場合	国外で発生した地震について、地震の発生時刻、発生場所(震源)やその規模(マグニチュード)を概ね30分以内に発表。 日本や国外への津波の影響に関する記述も発表。
その他の情報	・顕著な地震の震源要素を更新した場合や地震が多発した場合など	顕著な地震の震源要素更新のお知らせや地震が多発した場合の震度1以上を観測した地震回数情報等を発表。
推計震度分布図	・震度5弱以上	観測した各地の震度データをもとに、1km四方ごとに推計した震度(震度4以上)を図情報として発表。

※1 気象庁防災情報XMLフォーマット電文では、「震源・震度に関する情報」と「各地の震度に関する情報」はまとめた形の一つの情報で発表します。

※2 気象庁ホームページでは「震源・震度に関する情報」及び「各地の震度に関する情報」について、どちらかの発表基準に達した場合に両方の情報を発表しています。